

PDCAを知っている人は多い。でも、できる人は少ない。

各種プロジェクトの遂行、人材育成、日々の業務など、マネジメントの技術が必要となる場面は多岐にわたります。そのマネジメントを行うために「PDCA (Plan, Do, Check, Action)」をどう回せば良いのでしょうか。一般論ではなく、実際に回し方を体感しながら、その技術を習得します。

期待される研修効果

マネジメントの役割は「与えられた役割を遂行するように、コントロールする」こと。このマネジメントの技術は中長期的な目標の達成だけではなく、日々の仕事の質を向上させる効果も持っています。一方マネジメントを行うためには「PDCAを回す」ことが重要だと示す研修は多いものの、実際にどう回せば良いのかを学べる研修はほとんどありません。この研修ではこの回す技術を習得するためのトレーニングを行います。



- 対象者** 管理職、若手職員、プロジェクトリーダーなど
適正受講者数 4名～24名
基本研修時間 8時間 **リミット時間** 12時間
達成目標 ■適正な目標が設定できる ■PDCAを回して目標が達成されるプロセスを認識している
 ■PDCAを回す基礎技術を習得できている

カリキュラム例

※研修目的・時間数・人数などにあわせてカスタマイズいたします。

時間	科目	内容
30min	オリエンテーション ／アイスブレイク	目的を明確にし、研修効果を高めるための意識づけを行ないます。 ◆研修の目的 ◆ビジネススキルの身につけ方
60min	マネジメントの役割	マネジメントとはどのような役割を持つのかについて解説しながら、マネジメントをやりやすい状態にするポイントやPDCAの意味について学んでいただきます。 ◆マネジメントの役割とは ◆目的と目標の違い ◆PDCAの本当の意味
240min ～ 480min	PDCAを回す トレーニング	どのようにPDCAを回せばよいのか、演習を用いてその技術を習得するトレーニングを行います。また、PDCAが失敗する原因について解説します。 ◆PDCAを回す（グループトレーニング） ◆PDCAが回せない理由
120min ～ 240min	PDCAの質を高める トレーニング	PDCAを回すことができれば、次はその質を高めることが求められます。ここでは質を高めるためのトレーニング（目標設定・問題解決）を行います。 ◆「Plan」目標設定トレーニング ◆「Action」問題解決トレーニング
30min	業務における マネジメントのやり方	目標達成するためのマネジメントのプロセスについて再確認するとともに、業務においてどのように活用していけば良いのかを解説します。 ◆マネジメントを実践するポイント ◆実践内容を考える（個人演習）

※受講者数や演習の進捗状況によって、時間や内容を変更する場合がございます。
 ※上記カリキュラムを数日間に分けて開催することも可能です。

■本研修の特徴:「トレーニング」において繰り返し演習を行い、基本技術を理解・習得するまで続けます。

ただし、トレーニング時間のリミット(上限)が設定されています。

研修価格:研修時間・受講者数に関わらず 30万円(税・交通費別)

■オプション:本研修の3ヶ月～6ヶ月後に3時間のフォロー研修を実施。職場でマネジメントができたかどうかを確認し、その評価及びマネジメントを実践するためのアドバイスをを行います。

研修価格:本研修 30万円+フォロー研修 6万円=36万円(税・交通費別)

「本気のマネジメント研修」では、マネジメントの基礎技術を習得していただくことをゴールとして設定しており、下記の2つのテーマでトレーニングを行います。また、これらのトレーニングは設定された時間によって演習を終了する「時間基準」ではなく、理解された状態の確認によって演習を終了する「理解基準」によって行われます。時間を要しますが、研修効果を高め、実践に結びつけるために必要なプロセスです。

※各トレーニングともに、基本時間と最長時間（リミット）を設けています。本来であれば、リミットを設けずに理解するまでトレーニングを行うべきなのですが、人によって得手不得手が存在し、時間をかけても理解が促進されない場合があります。また、演習を長時間続けることによる負担も大きいいため、各トレーニングにリミットを設けさせていただいておりますことをご承知おきください。
(各受講者の理解達成度については報告書にて報告させていただきます)

<p>18分以内に</p> <p>できるだけ高い</p> <p>構造物を創りなさい。</p>	<p>なるべく早く</p> <p>130cmを超える</p> <p>構造物を創りなさい。</p>
---	---

左側のテーマが一般的に行われている「時間基準」の演習、右側のテーマは当方が行う「理解基準」の演習です。左側は時間制限があるためにPDCAを1～2回しか回せません。しかし、右側は130cm以上の構造物ができるまで、何回もPDCAを回す必要があります。この「何回も回す」ことがPDCAの技術向上につながり、目標達成のためのマネジメントがいかに必要なのかを理解することができるのです。

【本気のマネジメント研修にて行うトレーニング】

■ PDCAを回すトレーニング

- ・ 制限時間内に指定された構築物をチームで作る「タワーゲーム」【必須】
- ・ ブロックを仕入れ、組み立て、販売してお金を稼ぎ、経営を体験する「マネジメントゲーム」【選択】
- ・ 指定された形に紙を切り取ってお金を稼ぎ、市場競争を体験する「トレーディングゲーム」【選択】

以上の3つのゲームのうち、1つもしくは2つのゲームを行いながら、PDCAの重要性や効果、その回し方を学び、技術を身につけるトレーニングを行います。なお、上記のゲームは一般の研修でも多く実施されている内容ですが、当社では「マネジメントを経験しながら技術を習得していただく」ために、独自のルールを追加して行います。

■ PDCAの質を高めるトレーニング

PDCAの実践の際によく見られるのが「Plan」と「Action」がうまく機能しておらず、効果的なマネジメントがなされていないという点です。ここでは、その2つの項目において、どのような目標設定をし、計画に落とし込むことが必要なのか（Plan）、どのような改善に向けた問題解決が求められるのか（Action）、をそれぞれ事例を用いながらトレーニングを行います。



研修内容・演習内容や料金、カスタマイズの相談など、お気軽にお問合せください。

お問合せアドレス info@be-it.biz